自分に誇りをもち　親に誇りをもち　祖国日本に誇りをもつ　青少年を育成する

責任編集
公益財団法人 新教育者連盟

生命の教育

「生命の教育哲学」創始者　谷口雅春先生御揮毫

平成 30 年 3 月号

もくじ

巻頭のことば　新教育者連盟理事長　代田健藏

特集　子育て――わが家の決まり事

5　善い言葉と優しい笑顔で、明るい家庭を築きましょう　谷口雅春
8　「してみせる・させてみる・できたらほめる」がしつけの第一歩です　大原和子
10　３歳の娘には、まず食事時間のルールから　佐瀬さや香
11　子供にはレッテルを貼らない　神 綾
12　子供もひとりの人格者として観る　高松久美子
14　冗談でもウソはつかず、子供の可能性を信じること　三輪りさ
15　感謝の心で、善い言葉ばかり使うように　井﨑弘之

16　《講演録》
天皇と国民――御代替わりとわたしたち
皇學館大学教授　新田 均

20　子育ては母育て(64)　知能の基礎は言葉と時間(後篇)　田下昌明
21　子育てワンポイント(12)　話を聞く　出口正博
22　子育てQ＆A　小１の娘とのコミュニケーション　杉山紀代子
子供の発達に不安を感じています　小林義典
思春期の娘にどう接したらよいか　國友規代
25　日本国憲法の問題点㉛　勝岡寛次
日本のしきたり(3)　「ひな人形」　辻川牧子
26　日本人 100 の誇り(67)　日本人の脳　岡田幹彦
27　親子で学ぶ世界と日本㊵　引き算国家と足し算国家　高木桂藏
28　親子で読むものがたり(67)　推古天皇の御代――聖徳太子　千葉ひろ子
30　生命の教育で学んだこと㉓　スクリムジャー弘美
31　新教連いんふぉめーしょん
◇兵庫支部の教育講演会、リーフレットのご案内、東京乳幼児教室のご案内など
◇３月支部行事
34　事務局短信・編集後記・次号案内

鈴はなぜ鳴るのでしょうか

公益財団法人
新教育者連盟理事長
代田健藏

このお話は以前、大先輩のK講師から直接お聞きした話です。

当時、大学工学部の学生であったK青年が、谷口雅春先生を住吉村のご自宅にお訪ねしたとき、谷口先生はたまたま手元にあった小さな鈴を手にされて「K君、この鈴はなぜ鳴るか解りますか」と質問されました。K青年は谷口先生ほどの立派なお方が質問されるのですから、何か深い理由でもあるのか、哲学的で深遠な論理でもあるのかと、真剣に考えてみたけれどもどうしても答えが浮かびませんでした。

それで仕方なく「解りません」とお答えすると、谷口先生は笑みをうかべられながら、優しく「鈴はもともと鳴るように出来ているのだよ」と仰いました。

続けて谷口雅春先生は「人間も、誰もが幸せになるように出来ているのです」と申された後、「でも鈴は鳴るように出来てはいても、動かないでジッとしていては鳴らないし、仮に動いたとしても鈴を固く手で握りしめていたのでは美しい音は出ません」

「それと同じで人間も活動しないで――つまり智慧も愛も生命力も発揮しないままでは、幸せを実現することは出来ません。まず動き出すことが大切です」と話され、さらに「また活動をしたとしても、手で鈴を固く握りしめたような状態、つまり欲望や不満を持っていては、本来の美しい音色が響くことはありません」と続けられました。

このあと谷口雅春先生は「生命の本性は動でありますから先ず動きだすことが大切ですが、その際、物質的なものに捉われたり、現象的なものを握っていてはならないのです」と懇切に説かれ、K青年と私達に大きな示唆を与えられたのでした。最後に私の大好きな智慧の言葉です。「**成ると信じて明るい努力**」（成ると信じて明るい努力）

生命の教育 七つの心得

一、子供に宿る善性を信じ、
これを引き出し伸ばし、
育てます。

二、どの子の個性も尊重し、
この世に生まれた使命を
生かします。

三、よい習慣をしつづけて、
正しいしつけといたします。

四、問題の子供は心の病気、
実は優秀児の仮の姿と、
観方を一転します。

五、親が変われば子が変わる。
何よりもまず
明るい家庭をつくります。

六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、
認めてほめて、たたえます。

七、花咲くことを疑わず、
信じて気ながに
育てます。